

**BIWAKO
BIENNALE
2012**

OTOGIZÔSHI / FAIRY TALE

御伽草子

序

本当に月日の経つのは早いもので、2001年に産声を上げた“BIWAKO ビエンナーレ”も今年5回目を迎えます。その間、社会の情勢も大きく変化しました。特に、昨年3月に起こった東日本大震災は、自然災害ならぬ人災、長年憂続けてきたことがとうとう起こってしまったと、多くの人たちの心に深い傷跡を残すことになりました。唯一の原爆被爆国である日本が、なぜこれほど多くの原子力発電所を作り続けたのか、チェルノブイリの教訓があったにもかかわらずその後もさらに……。そして被害を蒙ったのは、人間だけではないということも忘れてはなりません。他の多くの生物、また山を、海を、空気を、地球そのものを汚染してしまったのだということを。

人類は、なぜこの地球に存在するのでしょうか。自らの母なる星にこのような暴挙を働く人類というのは、いったい何なのでしょう。

2001年、21世紀の幕開けと同時に誕生した“BIWAKO ビエンナーレ”。その序文には「有史以来絶えない同じ種同士での殺戮の歴史を超克する意識の変革が人々に芽生えないか」という淡い期待を綴っています。しかしその期待は裏切られ、今もどこかで人類は同じ種同士で争い続けています。日本で起こった原発事故は、さらに追い討ちをかけるように人類の欠陥を浮き彫りにしました。人間同士の争いというレベルでは済まない、地球そのものの存在を脅かす深刻なものだと私は受け止めています。

それでもなお、人類は、この地球に存在していく価値はあるのでしょうか。

もしそんな人類でもこの地球に存在する理由があるとしたら、それは“アート”なのではないかと私は思っています。美しい音楽に耳を傾け、素晴らしい芸術作品を目にすると、愚行を繰り返す人類だけれど、それでもそんな人間だけがまた魂を揺さぶる“芸術”作品を産むことができ、それに感動することができるのだというその一点で……。

“アート”はなにも絵画や彫刻といった美術分野に限りません。あらゆる分野において自己の最大の能力を発揮し、それを極めるということにおいて、科学であつてもスポーツであつても“感動”へと昇華できる能力を持った人すべてを私は“アーティスト”と呼びたいと思っています。

美しいもの、素晴らしいものに感動する心が人々にある限り、一筋の光明を見出せるのではないかと、徐々に人類の意識が変革し、その変革された意識がいつか臨界点を迎え、新たな人類の歴史が刻まれるのではないかという希望を持ち続けたいと思っています。

今回の“BIWAKO ビエンナーレ”のテーマは、「御伽草子〜Fairy Tale」です。世界各地に作者もわからないお伽話・昔話が存在します。いつ生まれたのかも定かではないけれど、確実に未来に語り継がれていく普遍の物語が……。

今一度、そんな物語が生まれた人類の原点に戻ってみませんか。自身の心を謙虚に見つめてみれば、人類も他の種と同じく地球を母に生まれたのだということに気づくのではないのでしょうか。

今回“BIWAKO ビエンナーレ”に来られる皆様にとりまして、各々の物語を未来に紡いでいくささやかな一歩となれば、これほど嬉しいことはありません。

私にとりまして“BIWAKO ビエンナーレ”は、多くの人々によって奏でられる一大シンフォニーです。観客の方々も含め大きな感動に包まれるとき、はじめて“BIWAKO ビエンナーレ”は“作品”として完成をみます。

最後になりましたが、関わってくださいました全ての方々に、心より感謝の意を表します。

Time fries. First held in 2001, “BIWAKO BIENNALE” marks its fifth exhibition this year. Over these past years, we have seen drastic changes in social conditions. Above all, the Tohoku earthquake, of which the extensive damage is mainly attributable to human error, confirmed our long-held fear, leaving deep scars in the hearts of many people. Japan, the only atom-bombed country in the world, should have known better than to build one nuclear power plant after another even after the Chernobyl nuclear accident. And don’t forget, humans are not the only victims of the catastrophe. Among those radiation-contaminated are many other living things, mountains, the sea, air, and the Earth itself.

What is the meaning of human existence on this planet? Who do they think they are using violence against their own mother planet?

What was written in the introduction to the first exhibition of “BIWAKO BIENNALE” held at the dawn of the 21st century was a faint hope – a hope that we could be more aware of the history of killings among the same human race, which was to be overcome. This hope is yet to come true; there is always a battle going on somewhere around the globe. The Fukushima nuclear disaster has brought to light anew the defects in human nature. This tragedy involves more than just disputes among people. I understand this is sufficiently serious to threaten our planet.

And yet, is the human race worthy of living on Earth any longer?

If such human beings still have the right to exist on Earth, it might be found in “art” they create. The only meaning of human existence might be that they are the only beings on the earth that can create and be inspired by impressive music and art works, although it is also humans who keep repeating the same stupidities over and over again.

Not only artistic fields such as paintings and sculptures can be art. My definition of artist is anyone, in any field – say, science or sports-, who develops him or herself to the maximum, resulting in inspiring other people.

Let’s not lose hope as long as we have the ability to be amazed by something beautiful! If we keep trying to change our attitude, we can go so far as to open a new chapter of our history. I won’t give this hope up.

The theme of this “BIWAKO BIENNALE” is Fairy Tale. There are fairy tales and folk stories of unknown authorship all over the world. It also is not known exactly when those stories appeared, but they continue to be handed down through future generations.

Let’s travel back in time to the roots of these fairy tales and take a moment to reflect on ourselves. We will then recognize humans as well as other organisms were equally born to the mother Earth.

Nothing would make me happier if this “BIWAKO BIENNALE” could be a small step for our visitors to maintain their own stories.

For me, “BIWAKO BIENNALE” is as a magnificent symphony to play together with many people. This symphony will reach to the level of perfection as a work of art when all of us including the audience are filled with deep emotion.

Finally, I would like to express my heartfelt thanks to all those involved.

御伽草子 | Fairy Tale

O-1

P.06-13

天籟宮
TENRAIKYU

川北 ゆう
Kawakita Yu

佐藤 綾
Sato Aya

村井 賢治
Murai Kenji

南 公二
Minami Koji

山中 周子
Yamanaka Noriko

circle side

小原 昌枝
Kohara Masae

ART+NIWASHI

G-3

P.38-41

中江準五郎邸
NAKAE JUNGORO TEI

東之湖
Touko

秋山 洋子
Akiyama Yoko

徳常 広明
Tokutsune Hiroaki

坪倉 優介
Tsubokura Yusuke

G-2

P.42-47

外村字兵衛邸
TONOMURA UHE TEI

Benjamin Lacombe

曽和 治好
Sowa Haruyoshi

齊藤 江湖
Saito Kouko

平垣内 悠人
Hirakakiuchi Yuto

太田 達+重森三果
Ota Toru + Sigemori Mika

G-1

P.48-51

外村繁邸
TONOMURA SHIGERU TEI

白木 英之
Usuki Hideyuki

野田 拓真×野田 藍子
Noda Takuma + Noda Aiko

ワダマキ
Wada Maki

G-4

P.52-55

金堂まちなみ保存交流館
KONDO MACHINAMI
HOZON KORYUKAN

藤永 覚耶
Fujinaga Kakuya

伊庭 貞一
Iba Teiichi

野田 浩二
Noda Koji

山本 玄匠
Yamamoto Genshou

O-5

P.24-29

旧中村邸
KYU NAKAMURA TEI

大和 由佳
Yamato Yuka

Pancho Quilici

Gabriela Morawetz

八木 玲子
Yagi Reiko

友田 多恵子
Tomoda Taeko

G-5

P.57-67

豆光別邸
MAMEKO BETTEI

竹田 直樹
Takeda Naoki

矢津 吉隆
Yazu Yoshitaka

大喜多 智裕
Okita Tomohiro

田中 太賀志
Tanaka Takashi

中沢 知枝×熊瀬 紀子
Nakazawa Tomoe × Kumase Noriko

野田 幸江
Noda Sachie

草木 義博
Kusaki Yoshihiro

勝木 繁昌
Katsuki Hanjo

Art Unit HUST (白木英之・遠山伸吾)
Usuki Hideyuki・Toyama Shingo

藤原 昌樹
Fujiwara Masaki

越中 正人
Koshinaka Masahito

QNN / AUJIK (Stefan Larsson)

O-4

P.30-31

幸村邸隠居
KOMURA TEI INKYO

青木 美歌
Aoki Mika

O-6

P.32-33

小田邸
ODA TEI

田中 誠人
Tanaka Masato

池原 悠太
Ikehara Yuta

O-2

P.34

尾賀商店
OGA SYOTEN

矢津 吉隆+大喜多 智裕
Yazu Yoshitaka + Okita Tomohiro

O-7

P.35

八幡山展望館
HACHIMANYAMA
TENBOKAN

中島 崇
Nakajima Takashi

O-8

P.36-37

村雲御所瑞龍寺門跡
MURAKUMO GOSYO
ZUIRYUJI MONZEKI

大船 真言
Ofune Makoto

G-6

P.68-70

土田邸
TSUCHIDA TEI

北山 善夫
Kitayama Yoshio

山田 浩之
Yamada Hiroyuki

G-7

P.71-77

萬松園
BANSYOEN

遠山 伸吾
Toyama Shingo

AWAYA (奥野 裕美子・福島 正知)
Okuno Yumiko・Fukushima Masatomo

藤居 典子
Fuji Noriko

福島 新一郎
Fukushima Shinichiro

古道 末吉
Furumichi Suekichi

田中 哲也
Tanaka Tetsuya

田辺 磨由子
Tanabe Mayuko

G-8

P.78

塚本酒店倉庫
TSUKAMOTO SAKETEN SOKO

寺田 忍
Terada Shinobu

G-9

P.79

中山道三軒町
NAKASENDO SANGENMACHI

相本 みちる
Aimoto Michiru

BIWAKO

P.56

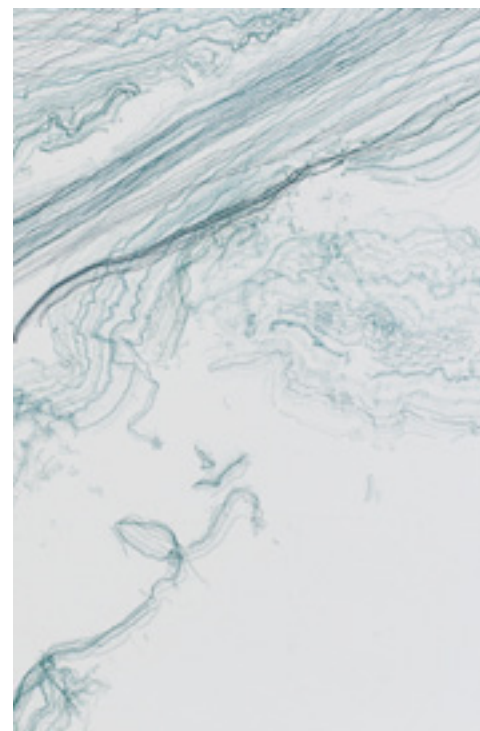
ピエンナーレ

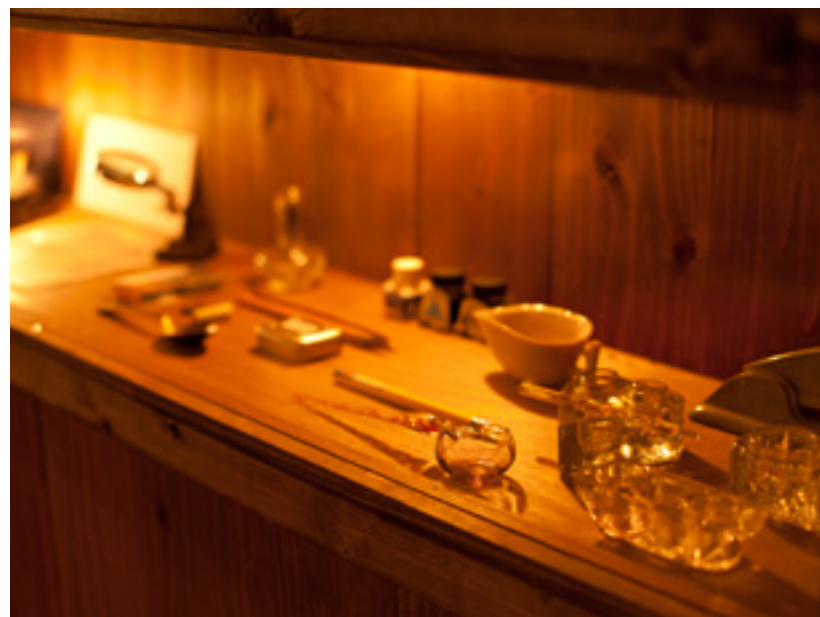
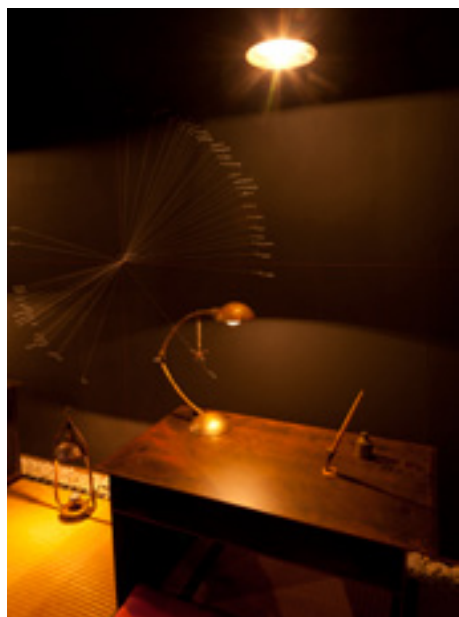
2012

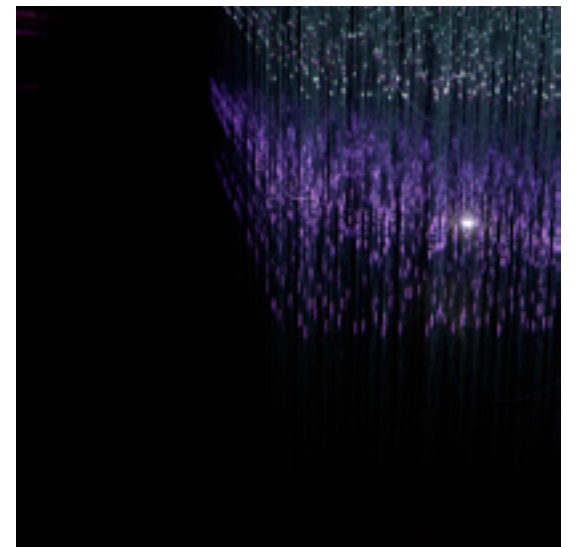
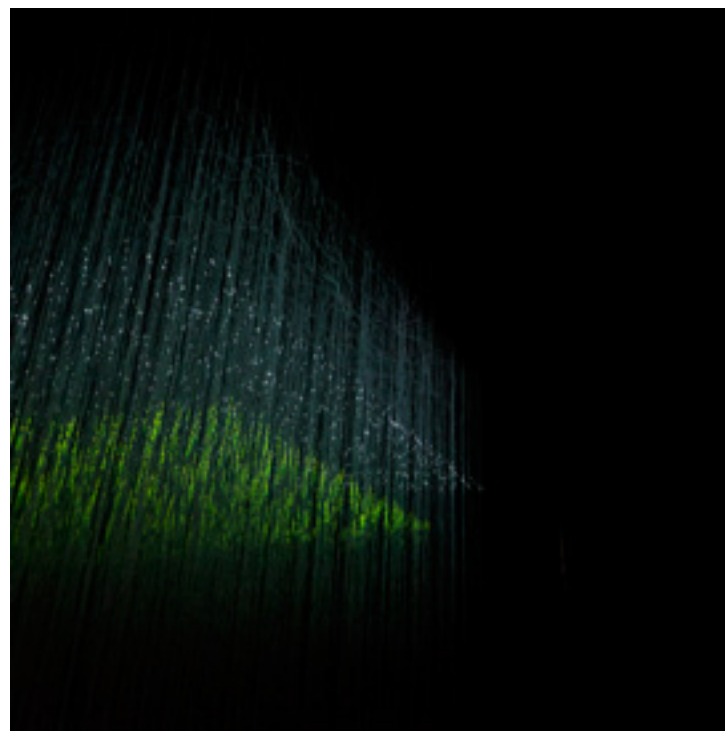
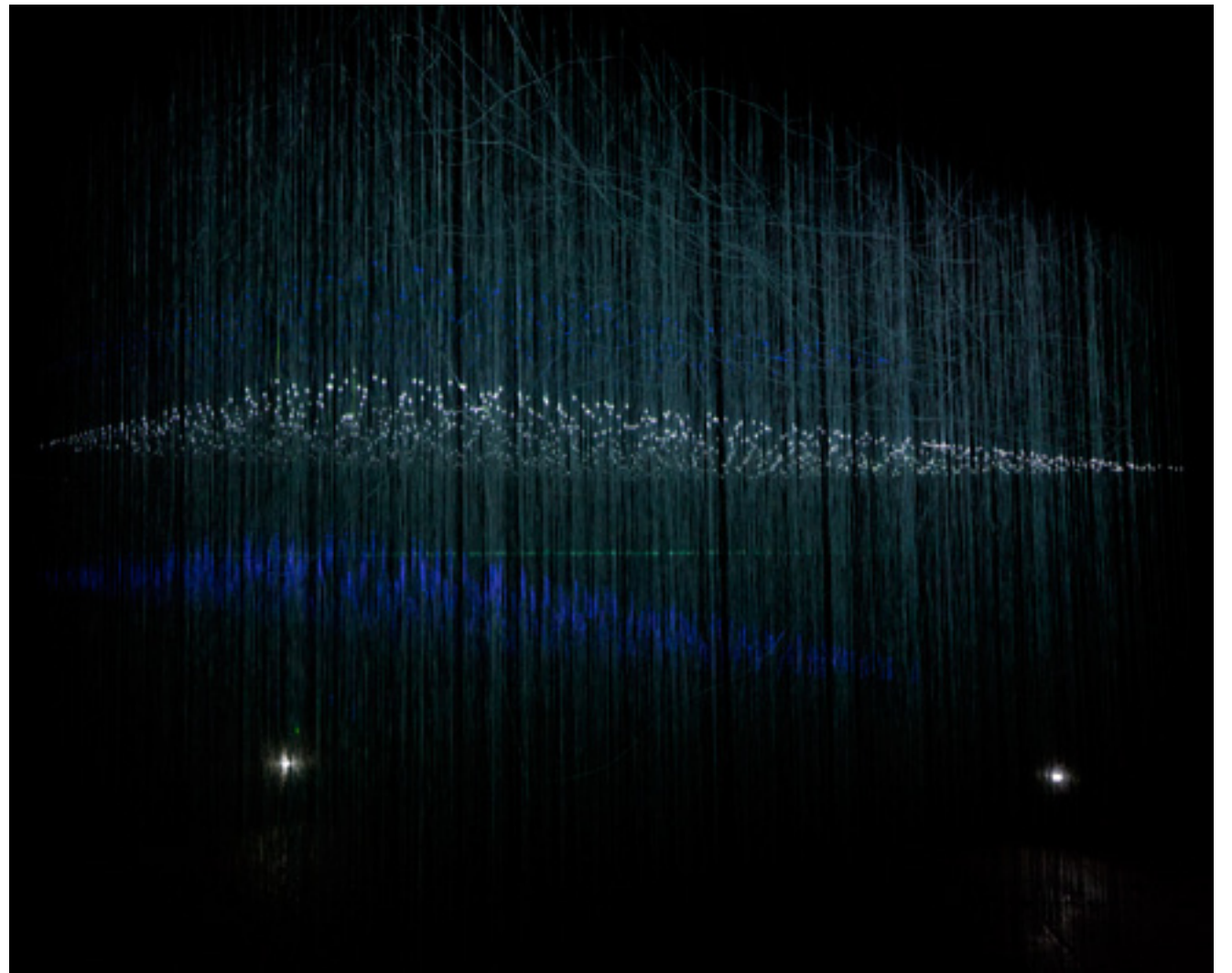
会場各所

ミギヒダリ よいこ

Migihidari Yoiko







会 期

2012年9月15日(土) — 11月4日(日) 月曜休み(祝日の場合は翌日休み)
10:00 — 16:30 [五個荘エリア] / 17:00 [近江八幡エリア]

会 場

滋賀県近江八幡市旧市街/東近江市五個荘

主 催

NPO 法人エナジーフィールド

助 成

公益財団法人花王芸術・科学財団 / 公益財団法人野村財団 / 公益財団法人朝日新聞文化財団 / 公益財団法人秀明文化財団 / 公益財団法人大阪コミュニティ財団—西日本高速道路エリア・パートナーズ倶楽部地域活性化支援基金 / 財団法人河本文教福祉振興会

協 賛

滋賀ダイハツ販売株式会社 / 村地総合木材株式会社 / 株式会社イーマックス・サプライ / 夏原工業株式会社 / 進々堂商光株式会社 / ツカキグループ / 株式会社カネ吉ヤマモトフーズ / 株式会社カワサキ / 株式会社清原 / 有限会社フェイム / 有限会社アイアンドティ / 株式会社エニアックインターナショナル / 京都銀行 / Atelier key-men 船着場 / 有限会社大治工務店 / 株式会社ハナデザイン / 滋賀中央信用金庫 / 白浜町商工会 / 南紀白浜梅樽温泉ホテルシーモア / SOHO clue / 滋賀 TCM 株式会社 / 有限会社ウエスト / CURASU effe / Exterior & Garden パーチェフル Páce-ful. / アンスティチュ・フランセ日本

後 援

滋賀県 / 滋賀県教育委員会 / 近江八幡市 / 近江八幡市教育委員会 / 東近江市 / 東近江市教育委員会 / 社団法人びわこビジターズビューロー / 東近江観光振興協議会 / 東近江行政組合 / 社団法人近江八幡観光物産協会 / 東近江市観光協会 / 公益財団法人滋賀県文化振興事業団 / 滋賀県博物館協議会 / 滋賀県中小企業家同友会 / しがぎん経済文化センター / エールフランス航空 / アンスティチュ・フランセ関西 / スウェーデン大使館 / ポーランド広報文化センター

協 力

近江鉄道株式会社 / 関西美術印刷株式会社 / 尾賀商店 / あわ八(旧中村邸) / 幸村邸(隠居) / 小田邸 / 村雲御所瑞龍寺門跡 / ティースペース茶楽 / 酒游館 / 東近江市五個荘近江商人屋敷 / NPO 法人金堂まちなみ保存会 / 豆光 / 東近江市五個荘北町屋町自治会(萬松園) / 有限会社ツカモト / 土田邸 / 坪田邸 / 弘誓寺 / 公益財団法人安土町文芸の郷振興事業団(文芸セミナリヨ) / 近江八幡市立岡山小学校 / 株式会社叶 匠壽庵 / 株式会社庵 / ファブリカ村 / e-radio / 有斐斎 弘道館 / 銀聲舎 / 西宮船坂ビエンナーレ 2012 / Onomachi α / 近江八幡観光ボランティアガイド協会 / 五個荘観光ボランティアガイド協会 / 立命館大学サービスラーニングセンター BKC 他

総合ディレクター

中田洋子

広 報

中山芽里

事務局

四十住幸恵 / 笹原由美恵 / 高松由依 / 宮内雄飛 / 村井未希

デザイン

井上智治 / 山中崇寛

BIWAKO ビエンナーレ 2012 御伽草子 | Fairy Tale 図録

写 真 平垣内悠人 (MILLIEN PHOTOGRAPHIC)
[アシスタント] 伊野 / 中田壮樹 / 村井未希

デザイン 縄根貴靖 (Nawachi Atelier of Art & Design) + 仁木真理子

編 集 BIWAKO ビエンナーレ事務局 / NPO 法人エナジーフィールド
〒523-0831 滋賀県近江八幡市玉屋町 6
tel & fax : 0748-26-4398

印刷・製本 関西美術印刷株式会社

発行人 松尾寛

発 行 銀聲舎出版会

〒641-0025 和歌山県和歌山市和歌浦中 2-13-15-1-202

発行日 2012年10月23日

ISBN 9784990474935 C0070 ¥2800E